「図面って、どない描くねん！」の山田学が教える実務セミナー

セミナー A

図面って、どない描くねん！
図解力向上と最新JIS製図の作法

◎･･･2次元CADや3次元CADを使いこなしている方々で、本当に形状を理解して設計している人は何人いるでしょうか？　線と線をつなぎ、できあがった“成りゆきの形状”で満足している設計者も多いと思います。

◎･･･設計者の意思が入らない図面は、魂のない図面と同じです。正しいモノ作りができるわけがありません。本セミナーでは、設計意図を伝えるための寸法記入テクニックを身につけていただきます。

◎･･･忙しい業務の中、先輩や上司から製図の作法を教わることも現状ではかなり難しい状況だと思います。JIS製図法は国際基準･ISOに準拠した形で改定が加えられています。図面の描き方に対する心の中のモヤモヤをすっきりさせ、これからの仕事の『質』を一段とアップさせるよい機会です。

■対象■　図面を描いたり読んだりして業務を行う新人～実務経験7年程度までの担当者から、今一度、最新製図の基礎を見直したいベテラン設計者、トレーサーなど。

※筆記用具をご持参下さい。（定規は不要です）

■日時■　2011年9月21日（水）10:00～17:00

セミナー B

コイルばね計算のモヤモヤ！？を解消
ばねの設計と計算の作法

◎･･･機械設計において、コイルばねは使用頻度の高い機械要素の一つにもかかわらず、カタログ標準品や流用品を頼りに設計している方も多いと思います。あるいは、経験と勘を頼りに、線径を決め打ちし、コイル径、巻き数などをなんとなく決めながら設計していることと思います。
◎･･･コストを考えるとカタログ品などを使うことも一つの設計手段ですが、理屈を知ってばねを選定し、強度や耐久性、固有振動数まで責任を持って確認していますか？
◎･･･ばねの設計計算をしようとすると、似て非なる公式や線図が教科書に掲載されていますが、どれを採用しどのパラメータから決めればいいのかわからず、困ったことはありませんか？
◎･･･本セミナーは、主にリンク機構に利用される3種類のコイルばねに焦点を当て、ばね設計に欠かせない線図の使い分けを論理的に理解したうえで、ばね設計上の注意点や計算の手順、強度や耐久性、固有振動数の計算と判定方法について豊富な演習を取り入れて分かりやすく指導･解説いたします。

■対象■　ばねを利用してリンク機構を設計する設計担当者～設計リーダ、品質保証担当など。

※筆記用具をご持参下さい。（電卓は不要です）

■日時■　2011年9月22日（木）10:00～17:00

■講師■

（株）ラブノーツ／六自由度技術士事務所　代表取締役　技術士（機械部門）　山田 学 氏
http://www.labnotes.jp/

■会場･聴講料■

会　場　：　日刊工業新聞社　西部支社ビル4F　セミナー室（福岡市博多区古門戸町1－1）
受講料　：　各42,000円（テキスト代、昼食代、消費税込み）　※連日ご参加の場合、または同一会社で複数名のご参加の場合、割引致します。

■問い合わせ先■

日刊工業新聞社西部支社　総務　（電話:092･271･5711、FAX:092･271･5751）
※お申し込みいただいた方へは、後日、振込先など詳細をご連絡致します。
※お申し込み人数が5名以下の場合は、中止させていただく場合があります。
※締切りは各セミナーとも、9月13日（火）です。
※セミナーの詳細は、http://www.nikkan.co.jp/edu/semi/top.html　からもご覧いただけます。

【参加申込書】　受講ご希望の方は、下記内容を、ＦＡＸまたはE-mailにてお申し込み下さい。

●FAX送信先　092-271-5751　●E-mail　kouen@media.nikkan.co.jp

氏名（ﾌﾘｶﾞﾅ）		お申込みセミナー	A　B　※○で囲んでください
会社名		電話番号	
部署名		ＦＡＸ番号	
役職		E-mail	
住所	〒	業種	

＜個人情報の取扱について＞　お申し込みいただいたお客様の個人情報は、日刊工業新聞社および関連会社が適切に管理し、お客様への確認、日刊工業新聞社からの展示会･セミナー等の案内をお送りさせていただくために利用させていただきます。